

「審査の効率化」「原発の最大限活用」の強引な原発推進を許すな 美浜原発3号の8月運転再開を阻止しよう！

原子炉起動は8月上旬の可能性 / 送電8月12日 / 本格運転9月6日

滋賀県長浜市での戸別訪問に参加・協力を

◆美浜3号の運転再開を8月に前倒し◆

関西電力は6月10日、老朽原発美浜3号を当初の予定だった10月から2か月早め、8月に運転再開すると発表した。特重施設（テロ対策等対処施設）の工事が、高浜3・4号の経験から工期短縮が可能になり、7月下旬に施設を運用開始できるためとしている。2か月もの工期短縮で、労災事故や手抜き工事も心配される。

関電は昨年6月23日に、美浜3号の再稼働を強行した。しかし、特重施設が未完のため、完成期限（昨年10月25日）2日前の10月23日には運転を停止。再稼働に反対する多くの声を踏みにじり、わずか4ヶ月の運転を強行した。老朽原発の初の再稼働という実績作りのためだった。

関電の6月10日の発表では、8月12日に並列（※）に達し、9月6日に営業運転を開始するとしている。原子炉を起動する日

関電原発の最近の「起動から並列までの期間」

原発	起動	並列 ※	起動から並列までの期間	営業運転再開
美浜3	2021.6.23	2021.6.29	6日	2021.7.27
大飯3	2021.7.3	2021.7.5	2日	2021.7.30
高浜4	2021.4.12	2021.4.15	3日	2021.5.13

※並列：発電機と送電系統を接続すること。発電開始

を公表していないが、これまでの実績からすれば、起動から並列までに2～6日程かかっている（表参照）。美浜3号の場合は、前回同様に6日程かけることも想定され、原子炉起動は8月上旬の可能性がある。

福井・関西・中部地方、そして全国の連帯した運動で8月の運転再開を止めていこう。

7月4日（月）美浜3号機運転禁止仮処分裁判 第5回審尋（大阪地裁）

- 審尋前の集会 13:15～13:50 場所：大阪地方裁判所前の小公園
 - 第5回審尋 14:00～14:30 （非公開。弁護団と申立人しか入れません）
 - 報告会 14:30～16:00 場所：大阪市中央公会堂 3階 小集会室
- 呼びかけ：老朽美浜3号機運転禁止仮処分の会（連絡先：原子力発電に反対する福井県民会議）

目次

▼美浜3号の8月運転再開を阻止しよう…p1 ▼長浜市戸別訪問の報告…p4 ▼高浜3号SG細管損傷…p6 ▼大飯裁判5月27日進行協議の報告…p8 ▼大飯裁判書面紹介：三次元反射法探査…p9 ▼国の責任を認めない最高裁判決に怒りの声（投稿）…p12 ▼エナガの会の活動紹介（投稿）…p13 ▼北海道・寿都町情報公開訴訟で住民側勝訴（投稿）…p14 ▼審査ガイドの「ばらつき条項」削除に抗議する…p16

◆美浜3号を8月に運転する必要はない。電力は足りている

	7月	8月	9月
北海道	21.4%	12.5%	23.3%
東北	3.1%	4.4%	5.6%
東京			
中部			
北陸			
関西			
中国			
四国	3.8%		
九州			
沖縄	28.2%	22.3%	19.7%

政府や電力会社、マスコミはこぞって、猛暑による電力需給のひっ迫に備えなければならないと宣伝している。しかし、関電の原発で現在動いているのは大飯3号だけだ。それでも電力のひっ迫は起きていない。

経産省が6月7日に発表した「2022年度の電力需給に関する総合対策」は、「10年に一度の猛暑を想定」したもののだが、左表のように、夏場（7～9月）の電力需給見通しは、いずれも供給予備率3%を確保している。

福井新聞（6月11日付）によれば、美浜3号の運転によって、北海道と沖縄を除く地域の予備率は「8月4.4%から4.7%、9月は5.6%から6.1%に改善する」という。このように予備率の「改善」はわずかだ。8月に美浜3号を運転せずとも電力は足りている。

実際に政府は、5年ぶりに開いた6月7日の「電力需給に関する検討会合」で、経済を最優先にして9月までは産業界への節電数値目標は設けないことを決めた。家庭に対しては「使っていない部屋の電灯を消す」「冷蔵庫に物を詰め込み過ぎない」等の節電対策だけだ。電力消費の削減のためには、浪費構造を根本的に見直す必要があるが、それもしない政府の上記政策でも、美浜3号の運転の必要はない。運転すれば、取り返しのつかない事故のリスクが高まるだけだ。

◆「審査の効率化」「動かせる原発は動かす」「原発の最大限活用」という強引な原発推進

美浜3号の早期の運転再開は、政府・電力会社・原子カムラ等が一体となった「動かせる原発は動かす」との意をくんだものだ。自民党議連は、規制委の審査に時間がかかりすぎているとして「審査の効率化」「規制上の制約の一時的解除（特重施設未完でも再稼働）」等を求めてきた。6月7日に閣議決定した政府の「骨太方針2022」では、原発については、今年の「可能な限り依存度を低減」との表現はなくなり、「最大限活用する」と明記し、「効率的な審査」も盛り込んだ。日本維新の会は、美浜3号を念頭に、事前了解が得られている原発は、夏場に向けて短期間でも動かすべきだと露骨に主張している。

関電の原発の状況(6月25日現在) 関電、福井県資料より作成

しかし、関電の原発の状況は、右表のようになっている。自ら引き起こしたSG細管損傷事故による定検期間の延長（6頁参照）、規制基準で定められている特重施設の未完による運転停止、法令で定められている

原発	稼働状況	今後の予定等	備考
美浜3	定検中	8月12日並列予定 (8月上旬原子炉起動予定)	10月運転再開を2か月前倒し
大飯3	運転中	8月下旬に定検入り	特重施設の期限8月24日 定検中の12月に完成予定
大飯4	定検中	8月に本格運転予定 (7月に原子炉起動?)	特重施設の期限8月24日 7月に完成予定
高浜1	定検中	来年6月3日 並列予定	老朽化対策工事中
高浜2	定検中	来年7月15日 並列予定	老朽化対策工事中
高浜3	定検中	3月1日から定検中 運転再開時期は未定	SG細管損傷で、5月中旬起動予定 は最低2か月遅れで未定
高浜4	定検中	6月8日から定検中 10月下旬に原子炉起動予定	(定検でまたSG細管損傷が見つければ定検期間延長の可能性あり)

13ヶ月に1度の定期検査等により、「動かせる原発」はほとんどない。現在動いている大飯3号は8月下旬には定検入りで運転を停止し、大飯4号が8月に本格運転を開始する予定だけで、美

浜3号が動かなければ、福井の稼働中の原発は8月下旬には1基となる。8月の前倒し運転は、住民の安全を顧みることもない「動かせる原発は動かす」という強硬姿勢の象徴となっている。

島根2号、女川2号等も知事が事前了解したが、安全対策工事や避難計画の策定等ですぐに動かせる状況にはない。地元では、根強い反対運動が続いている。

原発推進派は、ウクライナ情勢・エネルギー問題にかこつけて、原発推進を声高に叫んでいる。しかし、原発が攻撃されれば大量の放射性物質が放出され大惨事をまねく。福井県知事や自民党がというような「自衛隊で原発攻撃を防ぐ」ことなどできない。そのことは規制委の更田委員長が「防護する手段は事実上ない」と認めていることから明らかだ。住民の安全を守るためには、原発の運転を止め、廃炉を進めるしかない。

◆7月4日 美浜3号機運転禁止仮処分裁判に集まろう（大阪地裁）

7月4日には、美浜3号仮処分裁判の第5回審尋が開かれる。前回の5月23日の審尋では、議論はほぼ出尽くしたと裁判所も認識を示し、7月4日に結審することになった、と弁護団から報告があった。関電は、ばらつき条項が削除されて審査ガイドが改定になった場合、書面提出に2か月を要求し引き延ばそうとした。実際には、ガイドは6月8日に改訂されたので（16頁参照）、2ヶ月後では7月4日の結審に間に合わない。住民側は書面を早く出すよう関電に抗議した。

裁判所は、美浜3号が動く前に決定を出したいとし、書面提出期限は7月中・8月上旬までとなった。弁護団は、再稼働前の9月頃には決定が出るとの見込みを話されていた。

この時は当然に、運転再開の時期は10月を前提に裁判の進行が進んでいる。関電が8月に前倒ししたため、仮処分裁判にも影響を与える可能性がある。「仮処分の会」の呼びかけにこたえ、関電の運転再開前倒しに抗議し、7月4日には大阪地裁に集まろう。

◆美浜原発の運転を止めるため、長浜市での戸別訪問に参加を

「避難計画を案ずる関西連絡会」は、昨年6月の美浜3号の再稼働強行の悔しさをバネに、次はなんとしても止めようと、昨年10月23日に運転を停止した翌日から、滋賀県長浜市北部で戸別訪問を開始している。地元の「湖北原発ゼロの会」の協力を得て進めている。美浜原発の危険性や避難計画に実効性がないことをチラシと対話で伝え、反対や心配する声を市長や議員、区長等に届けてもらうよう働きかけている。

長浜市北部は美浜原発の避難対象地域に含まれ、6月までに約6,100世帯を訪問し、避難対象地域の6割以上を回ってきた。

住民は避難先も知らされておらず、長浜市がいまだ避難所を公表していないことに驚き怒っている。事故が起これば琵琶湖は汚染され、大阪・京都を含む1,450万人に影響が及ぶと心配する声を聴く。清流の余呉川から引かれた水路は、滋賀の特産品でもある米作りにもつながっている。自然を守りたい、原発はいらない、節電して暮らしている等々。最近では、「市長に会って話してみる」「市役所に避難所公開等を求める」との声も聴かれるようになった（4頁参照）。

地道な活動だが、地域の人々の声を掘り起こす活動を続けている。運転再開予定が早まったため、戸別訪問も急ピッチで進められている。7月末頃には、滋賀県等に申入れを行う予定だ。住民の声に根ざした力強い運動を作っていこう。

戸別訪問に、ぜひ参加と協力を！

美浜原発事故時の避難対象地域
滋賀県長浜市 約9,300世帯 約24,500名

